

# 三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会（第2回）

## 議事概要

- 1 開催日時 平成28年8月19日（金）14時00分～14時30分
- 2 場 所 三条市役所 本庁舎4階 第二委員会室
- 3 出席者 水野（座長）、郷、近藤、佐藤、三富、米山の各構成員（6名）  
NSGグループ NSGカレッジリーグ・阿部氏（オブザーバー）  
  
事務局  
市川政策推進課主幹、坂田高等教育機関設置準備室長、  
石田一般任用主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関 越後ジャーナル社、建設速報社、新潟日報社、日本工業経済新聞社、  
北陸工業新聞社
- 6 配付資料
  - ・資料1 三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会（第1回）議事概要
  - ・資料2 三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会（第1回）における主な意見
- 7 会議概要
  - (1) 開会
  - (2) 構成員交代の報告
    - 事務局から、三条市医師会長の交代に伴い、池田構成員から水野構成員に交代があった旨、並びに、「三条市看護系高等教育機関の開設に係る懇談会設置要領」第5条第2項に基づき、水野構成員が座長に指名されていることについて報告があった。
  - (3) 議事
    - 事務局から資料2に基づき、第1回における主な意見に対する誘致候補者との協議結果について以下の報告があった。
      - ・開設場所については、県央基幹病院の建設予定地近隣である須頃地区とし、今後、用地を確保していくこと。
      - ・設置時期については、県央基幹病院の開院を待つのではなく、できるだけ早期の開設を目指すこと。
      - ・学校種については誘致候補者の意向を尊重し、3年制の専門学校とすること。

- 各構成員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
  - ① 看護師の国家試験受験者において4年制大学の卒業者が増えていることに加え、市内にある三条東高校に4年制大学の医療系学科への進学を見据えた医療専攻があることなどを考えれば、4年制大学とするのがよいのではないか。
  - ② 歯科衛生士を目指す生徒に、三条市に学校ができた際の進学について尋ねたところ、4年制大学であれば進学したいが、専門学校であれば新潟市にある4年制大学あるいは短期大学に行きたいという意見もあった。専門学校では進学先選択の第1位とはなり得ないのではないか。
  - ③ 進学先として3年制の専門学校がよいという意見もあるかもしれない。
  - ④ 3年制の専門学校で転出抑制策としての効果が十分であるのか、進学予定者のニーズ等を調査して検討するべきではないか。
  - ⑤ まずは3年制の専門学校として開設し、状況を見て4年制に移行することも考えてはどうか。
  - ⑥ 基幹病院の開院を待たないのであれば、実習先の確保は更に厳しいことが予想される。
  - ⑦ 県央基幹病院ができたとき、市内の病院から看護師がそちらへ流出する事態は避けなければならない。そのためにはできるだけ早期の開設が必要である。
  - ⑧ 歯科衛生士の職場は歯科医院だけでなく、老人保健施設などへも広がりを見せているため、幅広い教育を行ってほしい。
  - ⑨ 大崎地区にとの想いはあったが、固執するものではない。三条市や県央地区にとって重要な事業であることから、新たな用地を確保することなどにより、計画が遅れるといったことのないようにしてほしい。
  - ⑩ 誘致候補者となっているNSGグループの具体の構想、並びに、4年制大学ではなく、3年制の専門学校とする理由について説明を求めたい。
- 事務局から次回の懇談会については、必要に応じて、座長と事務局で相談し、日程調整の上で開催したい旨の説明があった。

(4) 閉会